

自然との調和、写真が紡ぐ瞬間



子ども家庭庁が実施する、令和5年度こどもまんなか「家族の日」写真コンクールにて最優秀賞を受賞した村内在住のフォトグラファー森原志織さんに今回の受賞作品や写真を始められたきっかけについてお聞きしました。

—写真を始めたきっかけ

2年半前頃に、酪農業の合間にできることがないかと思い、始めたのがきっかけです。尊敬する写真家のもと、オンラインで撮影や写真編集の技術を学びました。最初は家族の写真を撮ることをメインに考えていたのですが、撮り続けるうちに他の人の写真も撮りたくなり、1年半程前から出張撮影を始めました。

—写真コンクールについて

このコンクールは3つの部門に分かれており、私の作品はその中のこ

どもまんなか部門にて最優秀賞に選ばれました。タイトルは『田舎のこどもたち』です。

最近子どもたち全員が揃っての写真を撮ることがほとんどなかったのですが、その日は天気も良く、たまたま子どもたちも牛舎にお手伝いに来ていました。その風景を見た瞬間今撮らなきゃと思い、すぐカメラを持ってきて撮影しました。

—今後の活動

元々新しい人との出会いや、色々な人とお話しすることが楽しくて続けている活動なので、人との出会いを大切にし、もっとたくさんの人にフォトスタジオを飛び出して、開放感のある自然の中で撮影するロケーションフォトの良さを知ってもらえるように活動をしていきたいです。

▶受賞作品「田舎のこどもたち」。審査員からは、「家族の仲の良さ、そして家業への誇りも感じます」「一目見てはじける笑顔たちが印象的で心が鷲掴みにされました！」などのコメントがあった。

▼子ども家庭庁より表彰楯が授与された



時事雑感

新しい年が始まり、寒さも一層厳しくなってきました。皆様、新年あけましておめでとうございます。1月は年明け早々、新たな目標や抱負を掲げ、仕事や学業に向き合う月ですね。冬の寒さもピークに達し、積雪が増える中、体調管理は欠かせません。手洗いやうがいを徹底し、新年を元気に迎えましょう！

さて、今月号の表紙は今年の干支である辰年生まれの学年にあたる、小学5年生の皆さんの笑顔の写真となっています。ぜひ今一度確認していただくと嬉しいです。2024年の広報誌も皆さんと共にあり続けられるよう、広報制作に誠心誠意向き合っていますので、2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

〔N〕